

南予地域柑橘農業復興対策チーム第17回会議の概要

令和4年10月13日(木) 10:30～
南予地方局7階大会議室

1 園地復旧について

(1) 原形、改良復旧の取組及び営農再開状況【宇和島市、南局農村整備課】(P1)

宇和島市を除く3市3町の園地復旧は100%完了

宇和島市は9月末時点で約7割が完成。R4年度末の工事完成に向け、総力をあげて対応中
改良復旧2カ所は9月末で工事完成。年度内に権利設定のための換地処分を終え、事業完了予定

(2) 再編復旧の推進【南局農村整備課】(P2～P5)

玉津地区：白浦工区はR3年7月から工事着手、法花津工区はR4年10月から工事着手、
整備園地での植栽方法を営農指導班、担い手農家とともに検討中

立間地区：3工区で詳細測量設計中。砂防工事と歩調を合わせるため、本年度、白井谷工区の一部樹木を伐採予定

2 営農支援策について

(1) 労働力確保対策【JAえひめ南】(P6)

JAえひめ南では人材派遣会社を2社から4社に拡大し、支援を強化

宇和島市が所有する宿泊施設「みなみかぜ」について、JAえひめ南に管理委託し、アルバイト等の受入体制を強化

アルバイト等の受入体制強化のため、R4にJAえひめ南管内に簡易トイレを3基増設(宇和島市計13基)

(2) 早期成園化に向けた大苗育苗について【JAえひめ南】(P7～P8)

R5春配付に向け、(株)玉津柑橘倶楽部が1,600本を育苗中

JAえひめ南では、R5年配付分は県外業者への委託で2年生苗木21,300本を確保、旧三間町の業者委託で温州みかん等の2年生苗木3,000本を育苗中

(3) 復旧園地における穴掘り機の選定と配備【JAえひめ南】(P9)

9月8日、3機種の実証試験を実施し、作業性や農家の声等を踏まえ、被災したモノレールの補修工事のため、吉田町内のJAえひめ南5支所(立間、吉田、奥南、喜佐方、玉津)に既に配備している電動式ハツリ機を活用することとし、掘削部分のスコップチゼル(17,000円/個)を年内に配備予定

3 温州みかんの生産販売状況について【JAえひめ南】(P10)

R4年産の生産予想：H29年並み(18,274t)

販売価格(京浜市場)：全国比112%(極早生温州：304円/kg)

4 その他

(1) 紅プリンセスの産地化【県農産園芸課、JA えひめ南】(P11～P13)

JA えひめ南は、R 5年春定植分の苗木 2,000 本配付予定(作付面積約 2ha に相当、〔R 5 春時点で作付面積約 12haの見込み])

(2) 傾斜園地作業効率化モデル整備事業の進捗状況【県農産園芸課】(P14)

今年度から将来を見据えた柑橘農業の強化を図るため、機械化を可能とする園地の緩傾斜地化など、生産性の高いモデル園地の整備を進めている。

令和4年度にJA えひめ南、JA にしう管内で1カ所ずつ整備予定